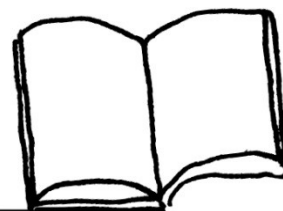


敬 和

R1. 12. 23 発行



11月23日に実施された人権集会の感想の続きです。

3年生

3年間積み重ねてきた人権学習をもとに、「私の人権宣言」として一人一人の思いを発表しました。

3年間の集大成ということもあり、とても緊張しました。特に作文を発表するときは緊張のあまり、校長先生への礼を忘れてしまいました。発表自体はよく気をつけて読んだし、終わった後に友達が「よかったよ」と言ってくれたので、安心しました。その後、他の学年がそれぞれ学習した内容を発表しました。すでに僕たちが学習した内容もありましたが、他の人から聞くことで、もう一度学習したそのときの気持ちがよみがえってきました。

今年の人権集会は3年間の中で一番緊張しましたが、1年生、3年生や保護者の方に伝わるように言いました。今日人権宣言したことを忘れないように生活していきたいと思います。そして、いじめや差別などがいつかなくなって平和な世の中になってほしいと思いました。自分ができることは相手の意見も自分の意見も尊重して、伝えていくことだとあらためて感じました。3年生の合唱は、心をこめて歌いました。音がはずれたり、声が小さくなったりしたけど、いい発表ができてよかったと思いました。

人権集会で1年生や2年生、作文を読んでもくれた人の発表を聴いて、人権について気付かされることがたくさんありました。友達との接し方や自分の行動、平和についての考えなど、人の意見を聞くことができて本当によかったと思います。自分と同じ考えや自分では思いつかなかった考えなどを知ることができました。やはり、一人一人が人権について深く考えることは大切なことだと思います。私たちの人権宣言のとき、つまることなく自分の気持ちを伝えることができてよかったです。この宣言で言ったことを胸に、自分の今までの行動を見直そうと思います。そして、相手に対する思いやりの気持ちを忘れないように今後、生活していこうと思います。

人権宣言では、自分の思いや願い、目標をクラスの人だけでなく、学校全体、保護者の方々にも伝えました。そして、この公の場で宣言したからには、自分の口で言ったことをしっかり実現させようと思う気持ちが高まりました。また、1、2年生の発表、合唱、太鼓の演奏を聴いて、とても心に響きました。人権学習の成果があらわれているようで、とても感動しました。人権集会では、普段の人権学習では聞けない他学年の意見を聞くことができます。今日はたくさんの意見に触れて、とても人権に対する意識が高まりました。これからも、人権について深く考え続けていきたいです。

中学校最後の人権集会が終わりました。僕たちは一人ずつ人権宣言をしました。あらためて人権について考えました。みんなにも同じような気持ちをもって人権について深く考えてほしいです。その後、「いつまでも」を歌いました。ピリッとした空気の中で歌いました。1、2年生の発表は過去を思い出しました。1番印象に残っているのは、2年生で行った長崎での平和学習です。家族や友達を失った人がたくさんいて、それでも必死に生きています。僕も決して希望を捨てず、たくさんのお世話になった人たちの感謝を忘れず今を生きていきます。そして、夢をもって楽しくて、充実した生活を送れるように努力します。

みんなの前で自分の人権宣言ができて、とてもよかったと思いました。後輩のみんなや保護者の方々が私たちの人権宣言をとても真剣に聴いてくれたので、とても感動しました。今まで先輩が歌ってきた「いつまでも」という歌を私たちが歌えたことが、とてもうれしく感じました。そして、私たちが1年生や2年生の頃にしてきたことを今の後輩がしていたのを見るととても誇らしく感じました。1～3年生、それぞれが自分たちが学んできたことをみんなに伝えるこの人権集会は本当に素晴らしいと思います。最後の人権集会でしたが、よいものになって、とても良かったです。来年も上中生に頑張ってもらいたいと思います。

どの学年も真剣に人権問題に取り組み、知識を深めていくなかで、自分たちは今まで学んできたことを一人一人が発表して、意見をしっかり伝えられたと思います。みんなテーマが違うけれど、それぞれこうなりたいと宣言していくとみんなの考えが分かるし、色々な知識を身につけられたので、この発表をしてよかったと思いました。これから中学校を卒業してもさまざまな問題に取り組み、学び、無知のまま人を差別することがないように、考えを深め、偏見や間違った情報に流されている人にそれは違うよと正しいことを教えてあげられる人になりたいと思うし、自分から積極的に人権問題に向き合っていけるような人になりたいとあらためて思いました。

みんなの宣言を聞いて、あらためて友達や家族のことを考え、もっと人権について知りたかったです。自分の宣言をして、これから自分でできることを考えて行動しようと思ったし、毎日の生活の大切さを考えて生きていきたいと思いました。「いつまでも」では、上八万のことや自分の周りの人のことを考えて歌いました。それが聴いている人に伝わっていたらとてもうれしいです。人権集会で、私は友達や家族、先生や周りの人の大切さやありがたさに気付かされました。これからは周りの人に感謝し、自分を大切に生きていきたいです。

全校生徒や来てくださった方々の前で人権宣言をして、緊張はしましたが、きちんとこれからの日常生活において実践していかなければならないと思いました。今年は最後の人権オープンスクールですが、毎年どの学年も発表や合唱が素晴らしく、感動させられます。校訓「敬和」の下、3年間で人権学習を深めることができ、かなり成長することができました。今自分のクラスメイト、家族、地域の方、先生方など全ての人々はかけがえのない存在だと思います。そして、「いつまでも」の歌詞にあります、この「ふるさと」を大切に、誇りに思い、生きていきたいです。

最後の人権集会は私にとって今までで一番特別なものでした。昨年と一昨年の3年生の発表を見て、「自分も絶対こうなりたい」と強く心に感じたからです。他の人の宣言を聞いていて、これまでの人権学習を思い出しました。3年生の集大成、そして次につなげる宣言になったと思います。合唱は、正直なところ、はじめは諦め気味でした。頑張りたい、心を1つに歌いたい気持ちはあるけど、先輩たちのように歌えないと思っていました。短期間ながら、練習を重ねるにつれて、自信がついたと共に、仲間への信頼や「この学年って最高だな」と思えるようになりました。本番、もしかすると声量は先輩たちに劣ったかもしれないけど、私たちらしい合唱ができたと思います。最後の人権集会を終えて、自分たちの学年、そしてふるさとへの誇らしさを感じ、これも人権を大切にすることにつながるのかなと感じました。これまでの全てを出し切ることができた1日でした。

